



## 社会医療法人 玄真堂 川嵩整形外科病院

副院長

本山 達男

TATSUO MOTOYAMA



もとやまたつお

久留米市出身、九州大学医学部卒。九州大学病院、福岡こども病院、別府重度障害者センターなどに勤務の後、平成10年(1998年)から川嵩整形外科病院に勤務。

**整形外科医として  
高齢化社会を支え  
健康寿命延伸へ。**



「退院の時に感謝の言葉をいただくとやりがいを感じます」と、患者と家族の笑顔が何よりうれしいと話す本山医師。

## 地

元中津市を中心に、市・県内外からの患者も多い『川嵩整形外科病院』。さまざまな疾患や症状がある整形外科分野で、膝・手・肩関節など細分化された診療によって、最善かつトップ水準の医療を提供している。

年齢やスポーツなどを  
起因として起こる  
「膝」のスペシャリスト。

看護師として働く母の姿を見て育つ  
た本山医師。「小さい頃から医師にな  
るんだとなんとなくイメージしていま  
した。医療の仕事が身近だったのも要  
因かもしれないですね」と、自然な流  
れで医師を目指して入学した大学時  
代、柔道でケガを負い手術を経験し、  
整形外科医になることを意識はじ  
めたという。整形外科にはさまざま  
な症状を抱えた患者が多いことから診  
療分野の幅が広く、またこれから高  
齢化社会において健康寿命延伸の考  
え方からも重要な診療科であること  
も、整形外科を志したきっかけだ。

整形外科一般を領域とするが、専門  
は「膝」。運動を起因とするケガから、  
年齢によって発症するものまで、幅広い  
年齢層の患者が本山医師のもとを訪れる。  
前十字靱帯損傷や半月板の損傷、  
変形性膝関節症、膝蓋骨脱臼など症状  
や不調の程度によって治療法はさまざ  
まだが、同院が大切にしているのは、手  
術のみでなく保存療法もしっかりと行  
うこと。同院はリハビリ施設、スタッフの充  
実、高気圧酸素治療を行っていること、

常勤の義肢装具士などで十分な保  
存療法が可能となっている。膝前十字靱  
帯損傷に対し特殊装具装着しリハビリ  
を行うことで治癒を促す「保護的早期  
運動療法」は同院のオリジナリティの一  
高い治療で、現在では靱帯縫合を加え、  
治療成績の向上に努めている。「手術が  
最適な場合もありますが、患者の思  
に寄り添いながら、最適な手段をご提  
案したいです」と話す本山医師のモッ  
トは「誠実に、やさしく親切に」。患者  
と丁寧に向き合い、まずしっかりと話  
を聞くことを大切にしている。

同院で20年以上勤めてきたことから  
長く診ている患者も多く、「私も患者さ  
んも年齢を重ねていますからね(笑)。  
今後は予防医学の観点からのサポート  
も充実させていきたいです」と、いつま  
でも自分の足で歩ける体づくりのアド  
バイスも欠かさない。整形外科全体で  
高齢化社会を支えながら、多くの患者  
を笑顔にするために尽力する。

### Company data

社会医療法人 玄真堂  
川嵩整形外科病院

中津市宮夫17  
TEL 0979-24-0464  
<http://kawashimahp.jp>

#### 【事業内容】

医療業(整形外科、リハビリテーション科、脳神経外科)をはじめ、介護福祉業(介護老人保健施設、通所リハビリ、デイサービス、訪問看護・リハビリ、ヘルパーステーション)の運営。